

## 鶴見区区政会議 平成 29 年度第 4 回全体会議事録（要旨）

1 日 時 平成 30 年 2 月 19 日（月） 19 時 00 分～20 時 55 分

2 場 所 鶴見区役所 4 階 403・404 会議室

3 出 席 者

（委員）

久木議長、前川副議長、内野委員、岡出委員、久貝委員、笹原委員、猿渡委員、高田委員、田中（潔）委員、田中（泰）委員、中田委員、西口委員、伴委員、藤本委員、宮川委員、宮本委員、山口委員、山田委員、吉江委員、米島委員、渡邊委員

（市会議員）

土岐市会議員

（区役所）

河村区長、野村副区長、安部総務課長、奥本区政企画担当課長、阪東魅力創造担当課長、小川地域活動支援課長、田中こども・教育担当課長、中村窓口サービス課長、嶋原保健福祉課長、松井子育て支援・保健担当課長、貴志生活支援担当課長、秋山地域活動支援課長代理

4 議 題

- 1 鶴見区将来ヴィジョン（案）（2018 年度～2022 年度）について
- 2 鶴見区地域保健福祉ヴィジョン（案）（2018 年度～2022 年度）について
- 3 平成 30 年度鶴見区運営方針（案）について
- 4 平成 30 年度鶴見区予算（案）について

5 議 事

（1） 河村区長開会のあいさつ

（2） 議員紹介

（3） 定足数確認

- 区政会議定足数は委員定数の 2 分の 1 で、現在、26 名中 21 名の出席により定足数を満たしている。

(4) 鶴見区将来ビジョン(案)について説明

(5) 委員からの意見・要望等

➤ なし

(6) 鶴見区地域保健福祉ビジョン(案)について説明

(7) 委員からの意見・要望等

・最近では町会加入者が少ないが、入る必要はあるのか。地域活動協議会と町会の関係もわからない。また、各種団体とはどのような団体のことなのか教えてほしい。

➤ 地域振興会の下部組織として町会は存続しているが、加入は任意であり、入る必要があるかどうか区で判断するものではない。また、地域振興会は地域活動協議会の構成団体の一つである。各種団体とは地域振興会のほか、地域社会福祉協議会、民生委員、女性会、老人会等で地域活動協議会の構成団体として活動されている。各種団体の活動内容については、今後、区広報紙や区ホームページで周知していく。

・(意見)地域振興会は町会組織で構成している団体であり女性会、社会福祉協議会などと並んで地域活動協議会の主な構成団体となっている。町会組織が必要であるかどうかは個人の判断になるが、阪神淡路大震災等の災害や大きな危機にあったときは非常に大きな役割を果たす。

・地域で問題となっているが、民生委員の守秘義務により地域の見守り活動が進まない。見守り活動のための情報共有を行うための大枠をつくってほしい。

➤ 同意を得て地域に情報を提供しているため、地域と民生委員で情報共有し見守り活動をすすめてほしい。守秘義務を含め連携についての今後の進め方については区でも検討していく。

・資料に記載されている地域福祉カルテに記載漏れの地域があるように思う。

➤ 再度確認し修正する。

・「こども」と「子ども」で表現にばらつきがあるので統一してほしい。

➤ 点検し、統一する。

・地域での活動時、大阪市で既に団体保険に加入済みにもかかわらず再度加入しなければならない。区で整理し地域に提示してほしい。

➤ 区で確認し提示する。

・地域有償ボランティア事業を推進していく中で新たな担い手の発掘、育成につながる取組みとあるが、具体的にはどうするのか。

➤ 委託事業なので、受託者に対して実施を依頼する。また、新たな担い手のた

めの研修や制度説明などに来てもらった方につながりを作ってもらえるような形も進めていきたい。

- ・鶴見区地域保健福祉ヴィジョンの策定にあたって、社会福祉協議会や地域包括等に対して意見を聞いているのか。
  - 区社会福祉協議会や地域包括に対して内容確認、意見聴取を行い作成している。
- ・（意見）この鶴見区地域保健福祉ヴィジョンでは、5年後の具体的な鶴見区がどうなるのかが見えてこない。
- ・自分の地域でも、各種団体の活動や、青少年、福祉分野などから若い方が参加してもらえるよう取り組んでおり、若い方の横のつながりやネットワークを利用しながら進めていこうとしている状況である。
- ・例えば子ども会にしても、活発な活動が少なくなってきたのは急激に起こったことではなく、徐々にであるので、回復にも地道な積み重ねが必要であると思う。自分は地域の大人と子どもの関わりということで、公園愛護会と子どもと一緒に活動する美化活動に取り組んでいる。このような小さな取組みが次のステップにつながると思う。
  - 地域の取組みなど意見があったが、ひとつずつ参考にしていきたい。また、活動の周知も必要と考えているが、一緒に考えて進めていきたい。
  - 百歳体操の取組みの中でも、DVDの操作等で高齢者と若い方がつながるというようなきっかけづくりもある。
- ・（意見）生涯学習の活動の中で、子どもや高齢者とも関わりがある。行事等で小学生と一緒に保護者も参加してもらうなど少しずつ関わりを広げていくことを計画している。
- ・（意見）鶴見区は非常に子どもが多い地域である。また、7年後には70歳以上の方が地域に増えることが想定されている。そうなれば将来的に厳しい状況になるため、その問題への対応をこの地域保健福祉ヴィジョンに端的に入れていく必要があると思う。
- ・（意見）人材の確保・養成が先決と考えている。早急に人材育成のための組織づくりや講習、講座の開催が必要と思う。以前は区主催の「いきいき健康づくり教室」修了者が地域に帰って活動するなど人材育成ができていたが、現在は開催されておらず、活動は先細りになっている。また、地域とのつながりがないと定年になってから地域の活動に参加できるものでない。
- ・（意見）地域には人材が豊富にあるので、掘り起しややり方次第で人材確保はできると思う。好きで役員等を引き受けてもらえるような団体運営等が必要である。
- ・行政は学校関係、地域、福祉関係と縦割りで地域に行事等を依頼する。縦割りの

ため地域は何回も同じようなことをしなければならない。縦割りの行事等を集約してもらおうと地域は非常に活動しやすくなる。

- 意見はもっともだと思うので、行政としても行事等をできる限り、同じ時間帯で開催するなどの工夫は必要と思う。今年度もできる限り工夫して実施してきたが、今後も、意見等を聞きながら取り組んでいきたい。
- ・学校の図書ボランティアに地域の方が参加すれば子どもと関わることができる。また、子ども食堂等での読み聞かせも子どもの将来に大きな効果があると思う。
- 今後、学校と調整し図書ボランティアの募集等を行っていきたい。

( 8 ) 平成 3 0 年度鶴見区運営方針 ( 案 ) について説明

( 9 ) 平成 3 0 年度鶴見区予算 ( 案 ) について説明

( 1 0 ) 委員からの意見・要望等

- ・毎年防犯カメラが設置されるが、管理が大変なため機種の一掃はできないか。
  - 基本の仕様書は変更していないが、毎回入札する必要があるため大阪市の物品調達規則上、どうしても機種の一掃は難しい。管理が大変なことは認識しているが、ご理解いただきたい。
- ・深夜等に中学生か高校生が集まる公園に防犯カメラの設置を昨年依頼したが、公園内に電柱設置が必要であり、予算上設置はできないとのことであった。公園内に電柱を取り付け防犯カメラを設置することはできないのか。
  - 平成 2 8 年度から大阪市が各区に子どもを見守る防犯カメラを設置しており、鶴見区でも平成 2 8 年度に 1 2 台、今年度 2 台を公園に設置した。区の予算でも今年度は 3 0 台防犯カメラを設置した。公園内に設置するとなると、樹木が多すぎたり電気を引く場所等の様々な問題があり設置できないケースがある。
- ・(意見) 小学校により P T A 予算が非常に少ない学校があるため、区でもバックアップしてほしい。
- ・(意見) P T A も老人会と同じで、役員のなり手が少ない。クラブ活動を通じた横のつながりなどで P T A に参加してもらおうなど各学校で行っているが探せば役員のなり手はあると思うが、きっかけがないため結局同じ人になってしまう。予算に関してはバックアップしてもらえるとありがたい。
- ・平成 3 0 年度鶴見区予算 ( 案 ) の説明にあった、育てる・まなぶの中の「青少年健全育成事業」とは具体的にどのような事業なのか。
  - 青少年健全育成の区民大会や高校軽音などをまとめたものである。
- ・青少年健全育成事業等の中で一番大きい事業は何か。

- 青少年育成事業の中では「青少年非行防止活動」が一番大きい事業である。それ以外に成人の日などいろいろな事業をあわせて青少年健全育成事業等として計上している。
- ・（意見）地域活動支援課と鶴見区まちづくりセンターで企画している「鶴探 大人の社会見学」のような受け身ではないイベントを、区役所で企画してほしい。若い人が参加するこのような企画を行い、それが地域の活動につながっていくようになればいいと思う。
- ・区のマスコットキャラクター「つるりっぶ」を区民に知ってもらい、親しんでもらうということで、各小学校の運動会に顔をだすのもいいと思う。防犯カバーに「防犯パトロール中」というのがあればいいと思う。防災訓練を高校でも実施するよう検討してほしい。
  - 現在つるりっぶの着ぐるみは新しく購入した分も含め4体ある。使用希望される場合は区役所に申出いただきたい。
- ・（意見）6～7年後、地域に入ってくる人材には、スキルを持った人や経験のある人もいると思われるので、そういう人を人材育成や新たな担い手として、ビジョンに反映できないか。
- ・様々なビジョンや具体的な課題等の整理を行って予算編成されていると思うので、広報等に予算を公表する場合、予算編成の背景となった事業等をベースに、それに関わる組織、団体、地域活動の仕組みにどのように関わるのかを分かりやすいイメージ図等にすれば、区民の興味もわき、参画にもつながるし、地域活動協議会の取組みにも理解が進むと思う。
  - 広報紙やホームページでの公表時、予算編成の背景も含めて写真やイラストなどを使用し理解ししてもらえる工夫をしていく。

（18） 土岐市会議員助言

（19） 河村区長閉会のあいさつ

（20） 事務連絡

- 平成30年6月頃に区政会議全体会・部会を開催予定